

河川水質調査結果

市内河川の水質はおおむね良好

—7月は河川愛護月間です—

◆10河川の水質を調査

市では、毎年市内を流れる10河川の水質の調査を行っています。調査は、小野川が年12回、他の川は年6回実施しています。調査結果では、河川の汚れの程度を表す「BOD」(※1)を重要視しています。

平成24年度の調査結果では、市内の河川の水質はおおむね良好でした。また、小野川(上流)以外の河川では、BOD値が「3mg/ℓ以下」で、汚濁が少ない河川として評価できます。なお、小野川では「環境基準値」(※2)を超えましたが、心配な状態ではありません。平成23年度のデータと比べると、10河川の内、6河川はBODの値が下がりました。残りの4河川(刈谷川、稻荷川、根古屋川、小野川)は、BODの値が上

がっていますが、いずれの数値も0.1から1.0mg/ℓの上昇です。水質状況には大きな変化はありません。

◆美しい水辺環境を守るために 私たちが心掛けること

工業や農業はもちろん、私たちの生活も河川の水質に何らかの影響を与えています。例えば浄化槽を利用している世帯全てが、年に数回の保守点検と年1回の清掃、法定検査を実施することで、河川の水質が良好な状態を保つことができます。私たちが一人一人が環境に関わっていることを自覚し、行動することで、市内の美しい水辺環境を守ることができます。

問 環境政策課 ☎内線1561



小野川

(※1)…BOD(生物化学的酸素要求量)とは、水の流れがある河川などの汚濁の程度を判断するための指標です。水中にある有機物をバクテリアが分解するのに必要な酸素の量をいい、この値により、水中にある生物化学的な分解を受ける有機物の量を示します。

(※2)…環境基準値は、河川(公共用水域)の生活環境の保全に関する環境基準として、利用目的の適用性により、AAからEの類型に分類され、小野川(全域)は類型がAに、稻荷川はBに指定されています。

【河川的环境基準】

区分	BOD(生物化学的酸素要求量)
AA 類型	1mg/ℓ 以下
A 類型	2mg/ℓ 以下
B 類型	3mg/ℓ 以下
C 類型	5mg/ℓ 以下
D 類型	8mg/ℓ 以下
E 類型	10mg/ℓ 以下

表1. 市内各河川のBOD値経年変化(年平均)

(単位: mg/ℓ)

河川名	22年度	23年度	24年度	環境基準
刈谷川	2.4	1.6	1.8	—
稻荷川	1.6	1.8	2.8	B 類型3mg/ℓ 以下
根古屋川	1.5	1.4	1.9	—
遠山川	1.5	2.0	1.9	—
柏田川	1.8	1.7	1.6	—
結束川	2.4	1.5	1.3	—
太田川	1.3	1.8	1.2	—
桂川	1.9	2.1	1.9	—
乙戸川	1.8	2.7	2.2	—
小野川(上流)	2.3	2.3	3.1	A 類型2mg/ℓ 以下
小野川(下流)	1.9	2.0	2.1	A 類型2mg/ℓ 以下

※「—」は環境基準が指定されていません。